

コロナで気がつかされること

鶴田町立鶴田中学校

二年

佐々木

芭菜

私は、このコロナで休校や、いろいろ生活
動制限などが出ている中で、人々の生活も大
きく変わったように思えます。

例えば、生活の中でのマスクが体の一部に
なったこと。外出があまりできず家にいるこ
とが多くなりました。いつも買っていたもの
が買えなくなっていることなどです。最近で
は、増え続けているマスクも買うのが困難と
なりました。時期もありました。

そして、現在では医療問題が起こっていま
す。コロナ患者も診察したことで、コロナに
なったりしたら、家族や大切な人が待って
いる家に帰れない医療関係の方々。
こういうことがあって分かるのが、お医者さ
んや医療関係の人ってこんなに大変な仕事
だということだと思います。それだけではありませ
ん、国の政治、経済も背負う人たちだって同じ
ことだと思います。

こんなコロナ騒動が起こっている中で、
働くべきは、本当に必要なのはどんな仕事を
のかということだと思います。
この世の中には、一部の人たちだけが楽し
んでいて、本当に必要なのか？と思う仕事は
何個あってあります。その中で、私たちが子供
がどんな仕事を選ぶかということか、この後
の日本、いえ世界がどうなるかにつなけると
思います。

だから、私はこのコロナ騒動も未然に防い
でいける仕事に着き、このようなことがおき
ない世界にしていきたいと思います。